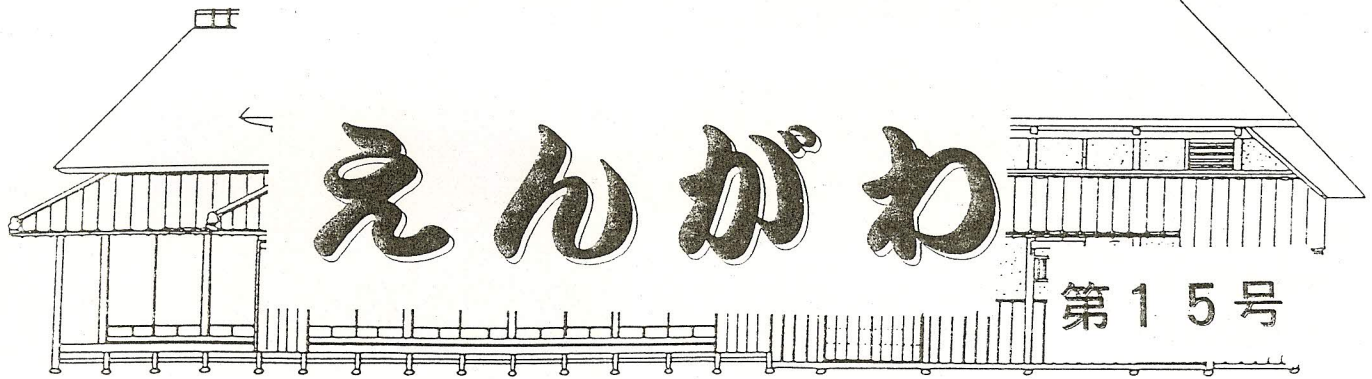


宮代町郷土資料館だより



平成11年度第3回企画展

# 「新収蔵品展」

宮代町郷土資料館では、町民の皆様から民具・古文書などについてご寄贈いただいております。これらの資料は、郷土宮代の歴史や生活の様子を知る上で非常に貴重なものであり、皆様にご覧いただくとともに、長く後世の人々に伝えていかななくてはなりません。

今回は、特に昨年から今年にかけて寄贈された民具、古文書等や、金原遺跡、中寺遺跡での新たな出土品を展示いたしました。民具では郷土資料館でははじめての収蔵資料である車だんす、らでんがほどこされた鞍（くら）、古文書では和戸村明細帳などが展示されています。考古資料については金原遺跡の縄文時代の土器や中寺遺跡から出土した板石塔婆や戦国時代の陶器など、中世の宮代町を語る上で重要な出土品が展示されています。この展示を通じて皆様に郷土に対する愛着と理解を深める上でお役に立てば幸いに存じます。  
展示期間6月15日（火）～8月15日（日）



# 収蔵資料の紹介

## 中国青磁発見

## — 中寺遺跡 —

宮代町では、多くの遺跡で発掘調査が行われています。しかし、そのほとんどが縄文時代の遺跡で、中寺遺跡のように室町時代の遺跡が発見されたのは現在郷土資料館が建つ地藏院遺跡に次ぎ、2例目です。

中寺遺跡は室町時代から江戸時代にかけての旧西光院の寺域にあり、付近には戦国時代に岩付城で百間地区を支配していた岩付太田氏や、小田原北条氏に仕えた鈴木雅楽助（すずきうたのすけ）の屋敷があります。このように、本遺跡周辺は戦国時代の百間の中心であったと推定されます。

中寺遺跡ではたくさんの陶磁器の破片が発見されました。その中には地元産の素焼きの土鍋や焙烙（ほうろく）、瀬戸美濃焼の小皿や茶道具に使う天目茶碗、静岡県志戸呂窯産のすり鉢など国産のものや、遠く中国浙江省の龍泉窯（りゅうせんよう）の青磁もあり、いろいろな地域の陶磁器がこの宮代町に持ち込まれたようです。また、中寺遺跡では、陶磁器のほか、室町時代の供養塔である板石塔婆や中国の北宋（西暦960～1127年）の貨幣である「元祐通宝」も発掘されました。



室町時代から戦国時代にかけては日本で貨幣（銅錢）が造られていなかったため、中国の貨幣が一般的に使われていたのです。一方、板石塔婆も宮代付近では採集することができない、緑泥片岩（りよくでいへんがん）と呼ばれる石で造られており、この石は秩父地方の荒川付近で取ることができるものです。

このように、戦国時代には、中国から陶磁器なども輸入され、活発な交易が行われていたことが伺われます。これは、街道が整備され陸上交通が盛んになっただけでなく、海上交通や河川交通など船での往来が盛んになった結果であると考えられます。

なお、現在、新収蔵品展で中寺遺跡の出土品は展示されています。

## 資料館えとせとら

### 百間小の社会科見学

4月20日と30日の両日、百間小学校の6年生130名が社会科見学として郷土資料館と金原遺跡を訪れました。20日は巡回展「埼玉の縄文」と常設展示室を見学。30日には実際に縄文時代の遺跡である金原遺跡を訪れ、その住居跡などを見学し、そのスケールの大きさを肌で感じました。住居の復元図と見比べて、古代に思いをはせていました。金原遺跡

はすでに発掘が終了しており埋め戻しが始まる前の貴重な見学会となったようです。



## これなんだべな

## かまど

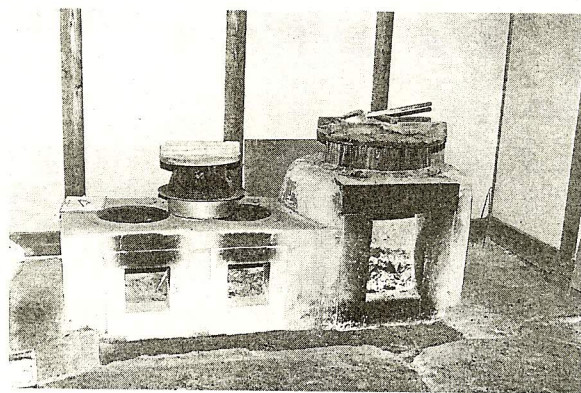
この右下の写真を見て何だかわかるでしょうか。皆さんの家にあるかもしれないし、テレビ等でもなにげなく見ることがあるかと思います。

郷土資料館の旧加藤家住宅に入り、すぐ右手奥を見るとかまどがあるのをご存じでしょうか。かまどは旧加藤家のように石を組んだだけのものと、粘土や土と石で回りを囲ったものがあります。現在は屋内の土間にあるのがほとんどですが、昔は地域によっては安全性のために屋外にかまどは造られていました。共に、風や雨をよけ、火の粉が散らないように、また、火がうまい具合に鍋底に集中し、少ない燃料で大きな効率を上げるために発達しました。かまどと共に、鍋もつばをつけて火力を逃がさない工夫がされたりもしました。現在は調理するには、ガスや電気等を使用する機器が発達しているので、あまりかまどは見かけませんが、昔の人々が生活するうえで必要不可欠なものでした。かまどは家の象徴にさえなっており、現在でも分家させることを「かまどを分ける」などと言ったりするのを聞いたことはないで

しょうか。それだけ貴重なものであったということがわかつてと思います。

郷土資料館ではこのような昔の人々が使っていた道具を皆さんが実際に触れて何かを感じ取れるようにと、毎年様々な体験学習講座や教室等を行っています。下記にも詳しくスケジュールを紹介しておりますので、ぜひ参加していただければと思います。

なお、かまどは「進修学校」と「中秋の名月お月見会」で実際に使い、体験することができます。



## 夏休み 郷土資料館で見て、聞いて、やってみよう。

夏休み体験学習教室「進修学校」 7月28日(水)～31日(土) 午後1時から  
竹馬やお手玉などを作って昔の遊びをしてみよう。

かやぶき民家で昔話を聞く会 8月3日(火) 午後5時から  
今年は、耳なし芳一・雪女など、ちょっとこわいお話6話。『宮代おはなしの会スウス』の皆様による熱演です。

### 縄文土器づくり教室

大昔の人々が使っていた縄文土器。この夏は手作りの縄文土器を作ってみませんか。

8月 4日(水) 土器を作ろう

8月18日(水) 土器を焼こう

8月25日(水) 土器を使って大昔の生活を体験しよう

### 企画展「古代の道仏ムラと姫宮神社古墳群」

昔の宮代には古墳もありました。最近発掘され、その当時のムラである道仏遺跡と古墳の関係をいっしょに考えてみよう。

## 資料寄贈者名簿

平成11年3月から6月までに、下記の皆様が郷土資料館へ民具や古文書などの資料をご提供いただきました。厚く御礼申し上げます。(50音順)

斎藤博道氏 小学読本  
深井義治氏 古文書

ご提供いただきました資料は今後、企画展等でご紹介させていただきます。今後も、昔を物語る様々な資料を収集してまいります。ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

## 資料館日誌抄

《平成11年》3/1～6/31

- 4.20 百間小学校6年生郷土資料館見学
- 4.30 百間小学校6年生金原遺跡見学
- 5. 7 町史民俗部会
- 5. 9 巡回展「埼玉の縄文」終了
- 5.12 企画展「ガラス絵にみる明治時代」開始(～6.13)
- 5.13 町史編集委員会議
- 5.28 町史文献部会
- 5.29 町文化財保護委員会
- 6. 4 町史考古部会
- 6. 6 ガールスカウト見学
- 6.10 町史編集委員会議
- 6.13 拓本講座 ①拓本の基本
- 6.15 企画展「新収藏品展」開始(～8.15)
- 6.19 拓本講座 ②拓本の実習

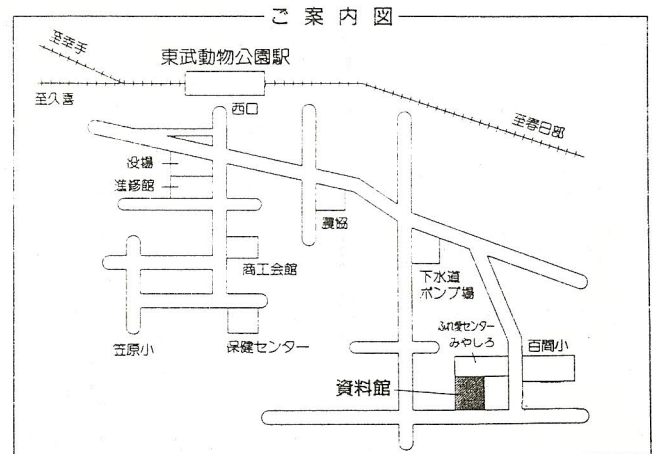
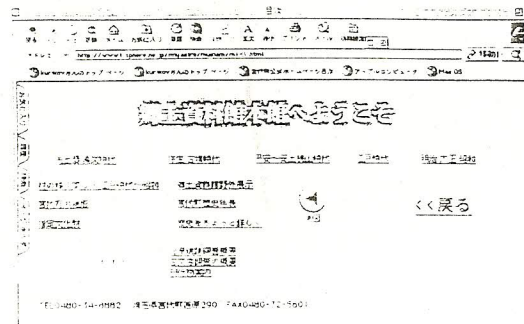
## コラム くるみの木

◆梅雨明けが待ち遠しいころ。不快なこの季節もカビや細菌にとっては快適な季節です。昔の人々はどのように工夫して、この季節を乗り越えていたのでしょうか。◆植物にカビや細菌の増殖を抑える働きがあるものがあります。お弁当に入れる梅干に含まれるクエン酸、お寿司のワサビに含まれるシニグリン酵素、米びつに入れる唐辛子に含まれるカプサイシンなどはそれぞれ腐敗防止や虫よけといった意味がありました。◆先人の知恵は偉大、学ぶことが多いなと思います。

## インターネット版郷土資料館

宮代町郷土資料館では、宮代町のホームページに「www郷土資料館」を開設しています。ここでは宮代町の歴史を「先土器・縄文時代」「弥生・古墳時代」「古代・中世」「近世」「近現代」に分け、詳しく解説しています。また、宮代町の指定文化財や西原自然の森内にある屋外施設(旧加藤家住宅、旧斎藤家住宅、旧進修館、縄文復元住居)、宮代歳時記、催し物の案内、刊行物の案内など多岐にわたる情報を公開しています。現在、調査資料整理が進んでいる金原遺跡の最新情報や古文書調査の最新情報なども随時更新し、最新の情報を皆様に提供できるよう努めています。なお、アドレス番号は

<http://www1.sphere.ne.jp/miyasiro/musiam/m1-i.html>



宮代町郷土資料館だより えんがわ 第15号  
発行日 平成11年7月1日  
発行 宮代町郷土資料館  
〒345-0817  
埼玉県南埼玉郡宮代町字西原289番地  
TEL 0480-34-8882